

ISO/IEC/JIS Plastics

事務局便り 2013年3月

ISO/TC61(プラスチック)第61回年次国際会議開催

1. はじめに

第61回 ISO/TC61 国際会議が、2012年9月17日～21日の5日間にわたり、スペイン・バルセロナ市の Hotel Catalonia Barcelona Plaza (写真1) にて開催された。

この会議には18カ国から約230名が参加し、日本からは宮入団長(東京医科歯科大学名誉教授)をはじめ69名が参加した。これは、参加国中トップで、以下 中国(TC61 幹事国、次回開催国) 32名、ドイツ(TC61 議長国) 26名、米国17名、英国13名の順であった。日本の69名の参加は確かに多いが、開発中アイテムの約4割を日本提案で占められていることからそれもうなずける。



写真1 Hotel Catalonia Barcelona Plaza

2.TC61の構成・活動状況

ISO/TC61には、表1に示すように10のSCで構成されている。昨年まではTC61直下に2つのWG(WG1:シガレットライター、WG2:環境がト)があったが、活動の活性化を図る目的から、SCへ編入されることが承認され、WG1はSC4/WG10、WG2は、SC5/WG24となった。現在登録されているWGは66でその内55のWGが各SCの元で活動している。

幹事国は中国、議長国はドイツであり、参加P-メンバーは32カ国でO-メンバーは39である。保有規格数は627あり、現在90件の規格が開発中である。

日本は10あるSCのうち3つのSCの国際議長および国際幹事を受け持ち、代行を含めたコンベンナー8名、プロジェクトリーダー23名(コンベンナー兼務4名)らが各WGで活躍している。議長はつぎの通りである。

- ・ISO/TC61/SC11 および SC12

- 天昇電気株式会社 末松征比古氏(写真2)

- ・ISO/TC61/SC13

- 名古屋大学 石川隆司氏(写真3)



写真 2 末松議長



写真 3 石川議長

3. 会議概要

会議は9月17日(月)から開催され、10のSCに所属する活動中55のWGの内、44のWGが会議を開催した。そこでは、各開発中の規格を中心にWGの課題を審議し、これらWGを統括する各SCのPLenary会議でWG審議事項の決議が取られた。

リーダ会議では、CDの廃止等全般的事項の審議が行われ、最終日に行うTC61Plenary会議では全決議の承認が行われた。そこでは、今後の開催地の予定についての報告もあり、次回20'13年の開催は中国・蘇州市で9月9日から13日の5日の予定、'14年以降の開催日程は未定あるが、開催国は'14年USA、'15年ケニア(TC61Plenary会議で決議)、'16年ドイツでの予定であることが発表された。

4. 今後の取組

この会議には毎年日本から多くの専門家が参加しているが、今年も約230名の参加のうち日本から69名が参加し日本の存在感を示している。アジアにおいて、韓国、中国の積極参加の姿勢は明白で、これらは産業界に大きな影響を与えることを考えると、これまで築いてきた人脈も活用しISO/TC61での日本の存在感を維持していく必要があると考える。

(以上)